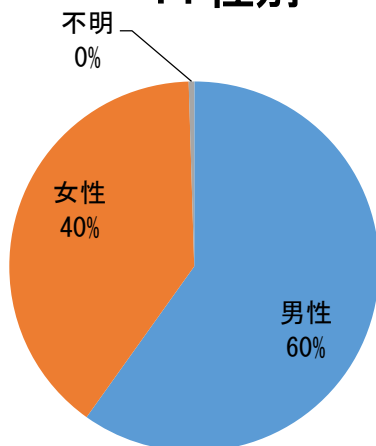


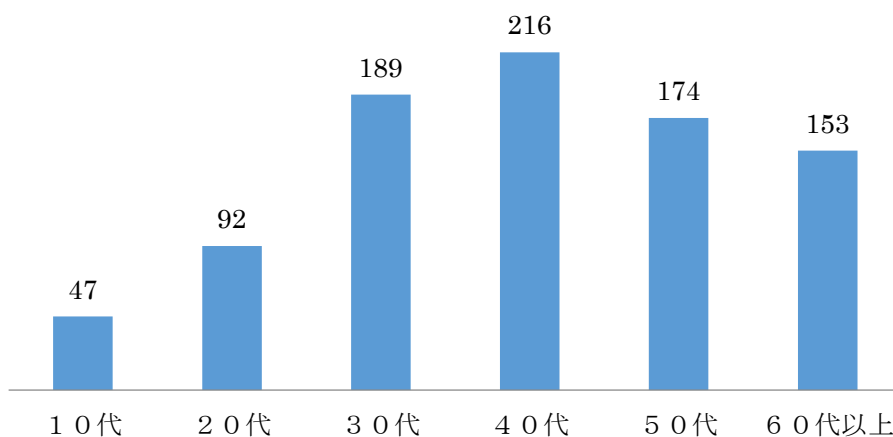
交通機関の利用状況についての集計

長野県障がい者の地域交通網を考える会（事務局ポプラの会）

1. 性別

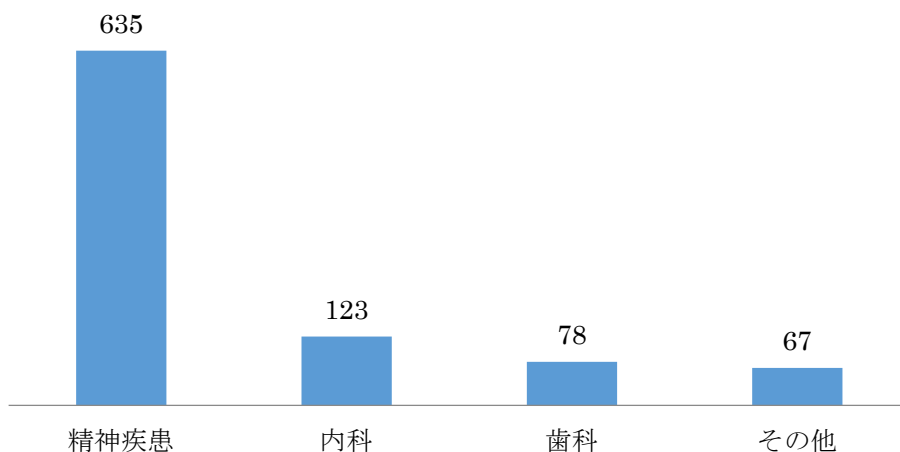


2. 年齢

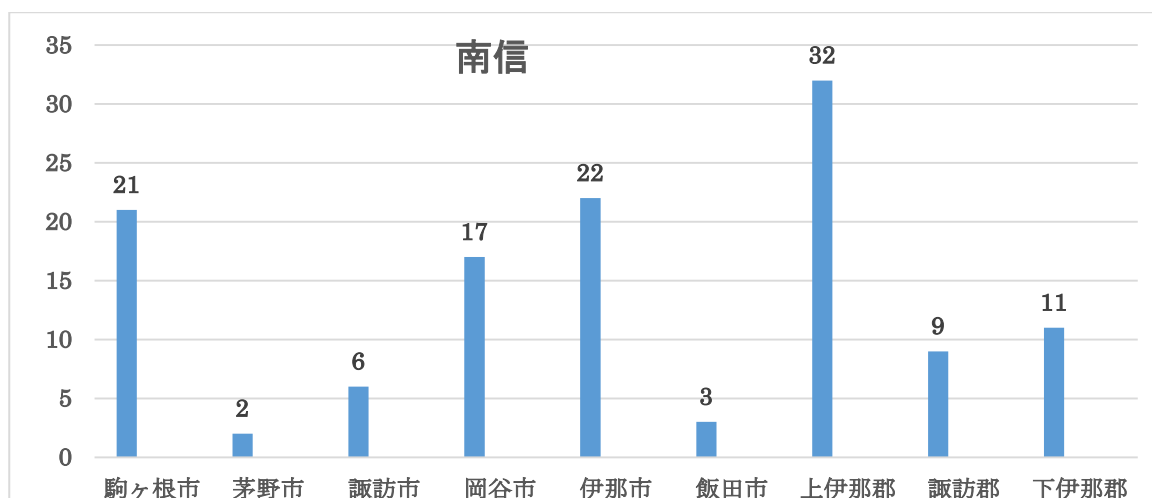
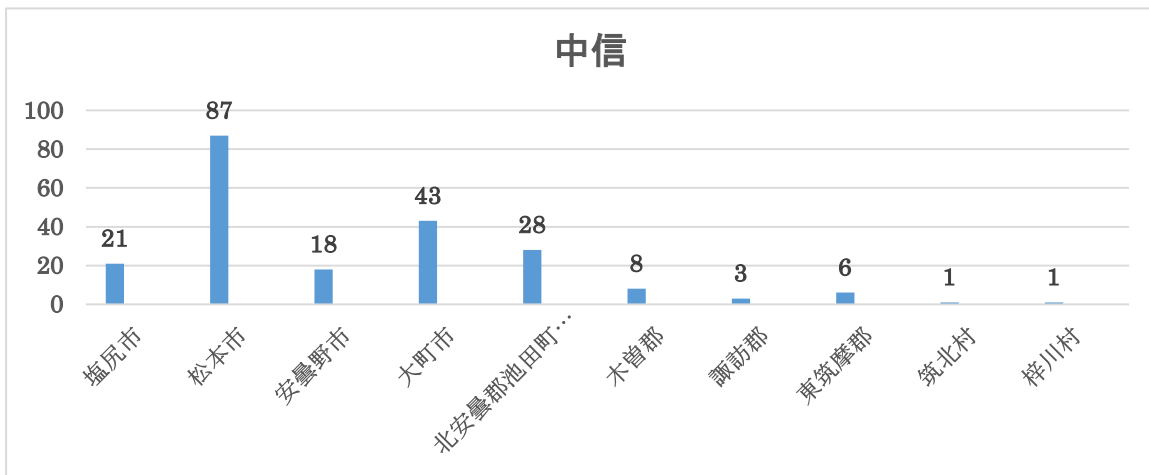
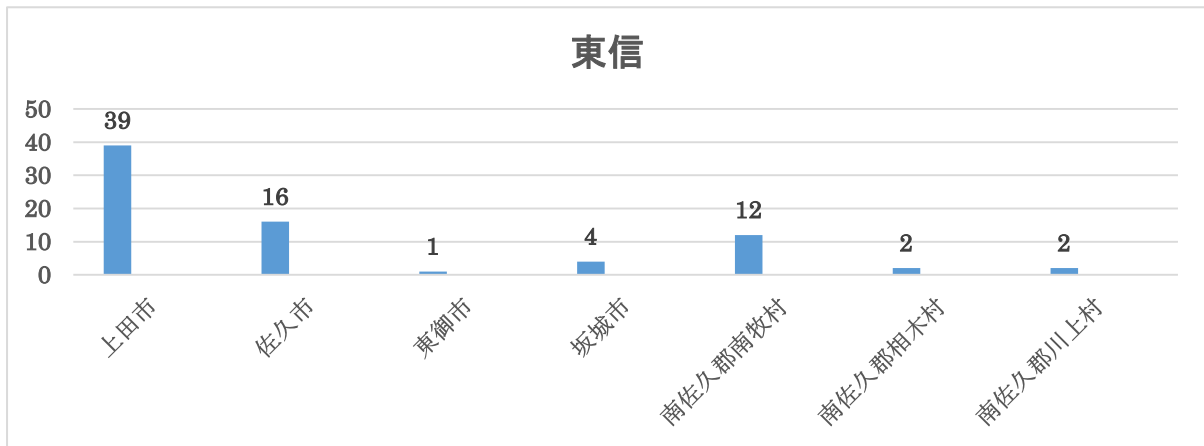
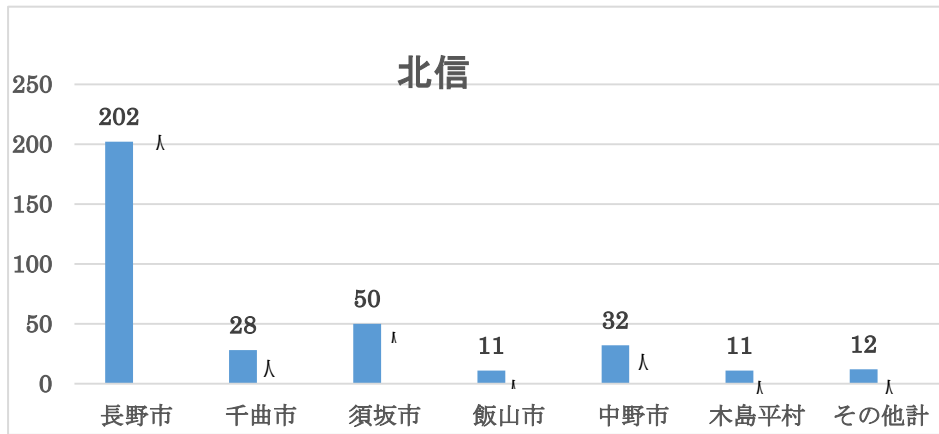


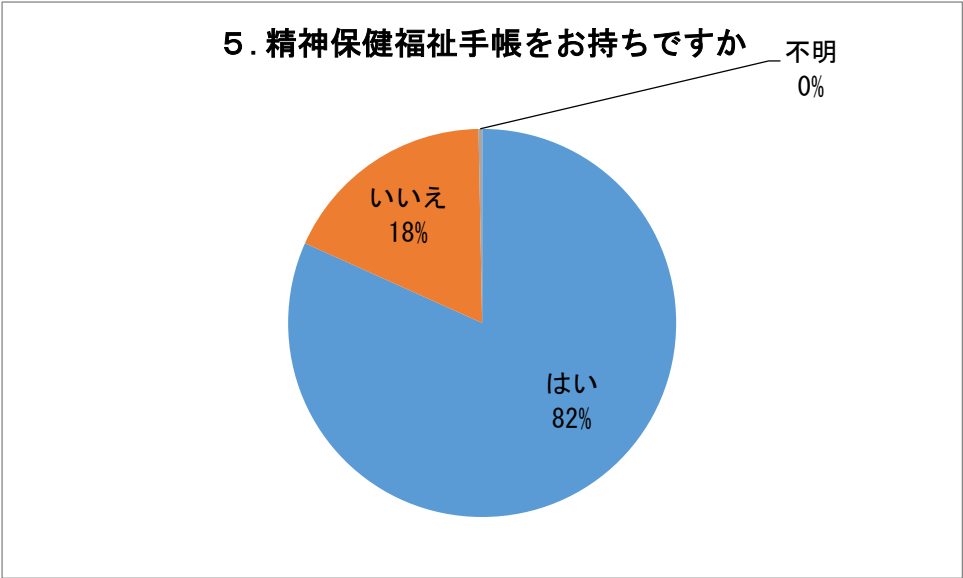
(3. 居住地 次ページ)

4. 疾患名（複数回答）

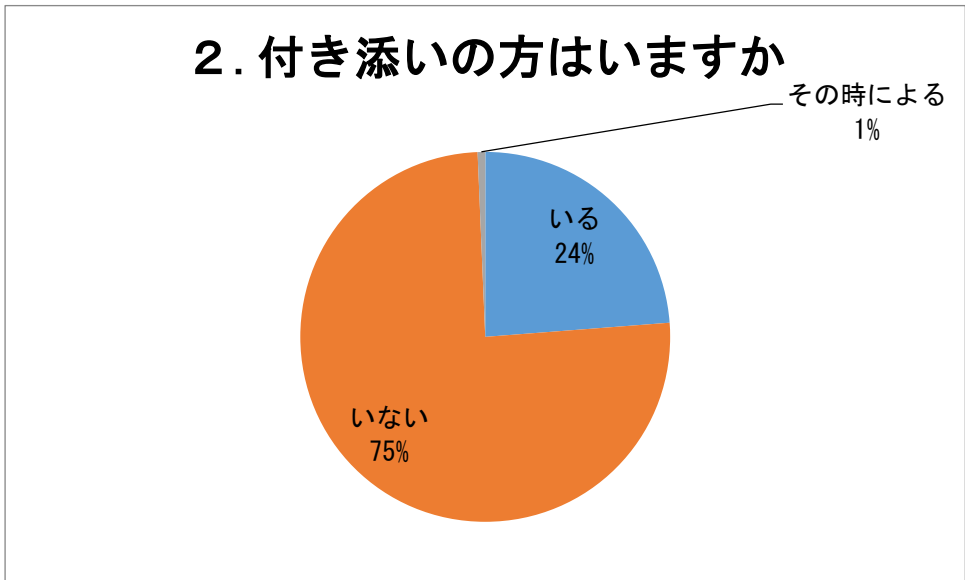
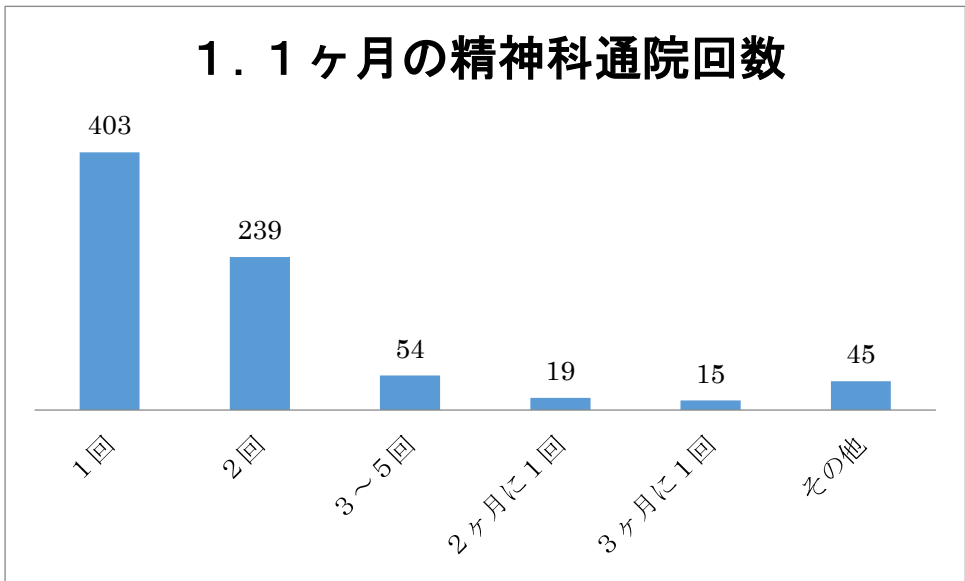


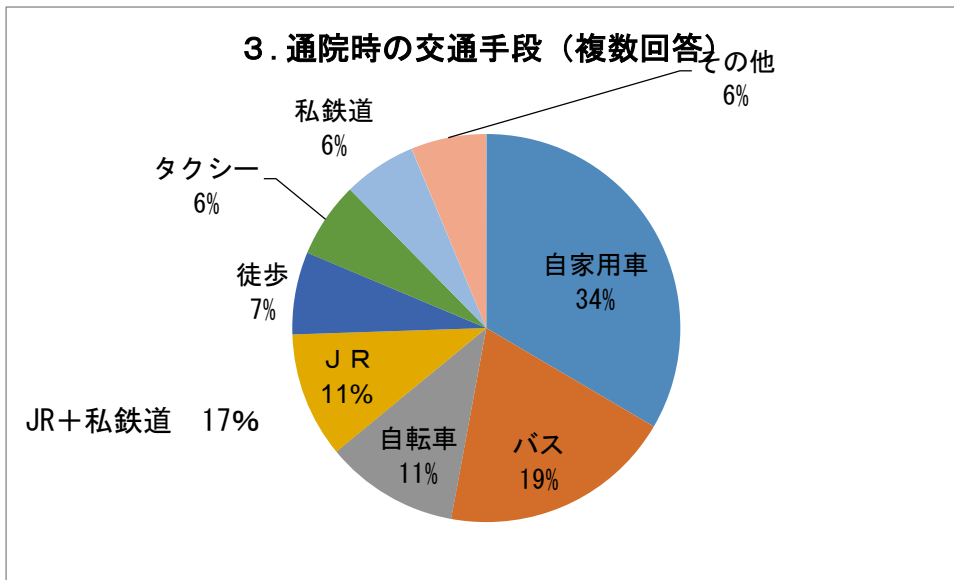
3. 居住地



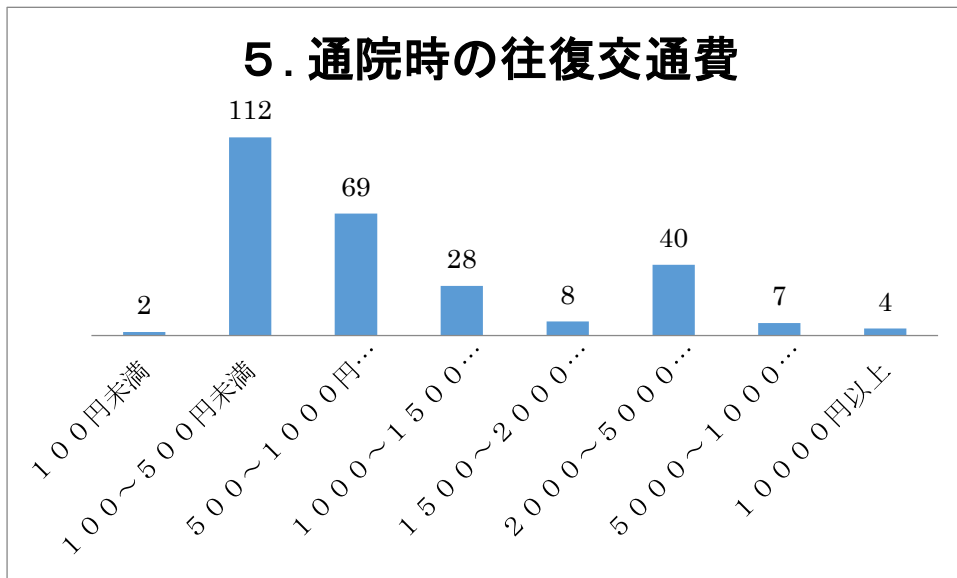


◇通院について

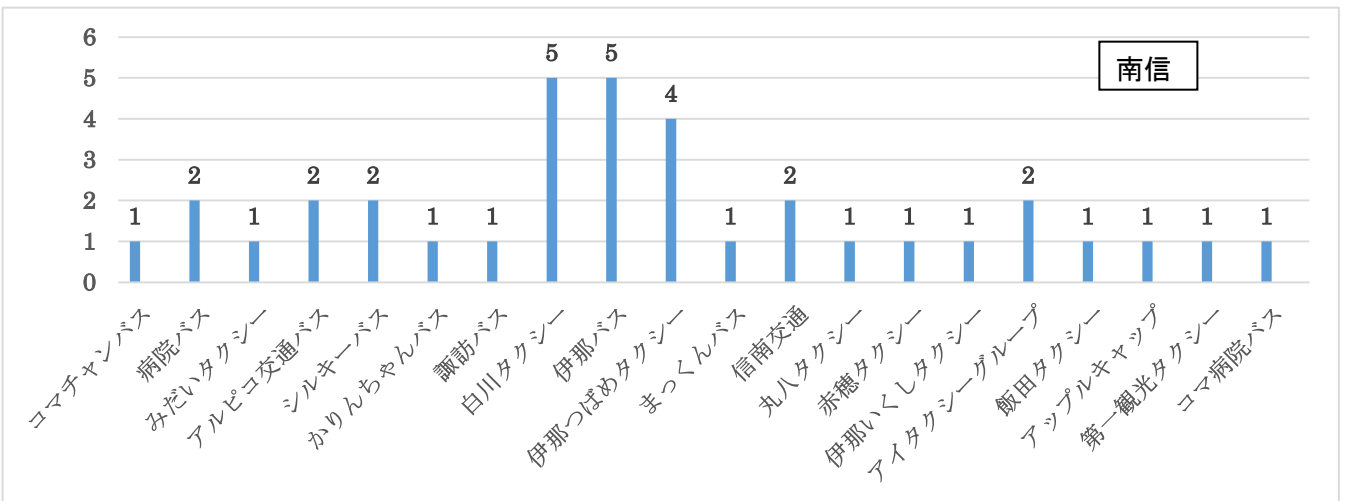
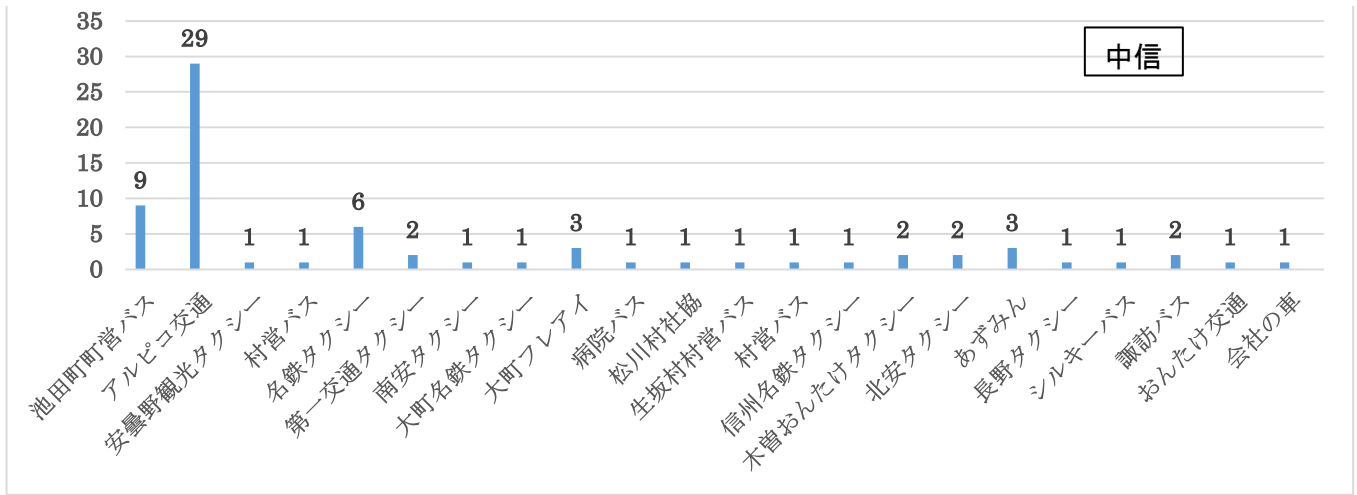
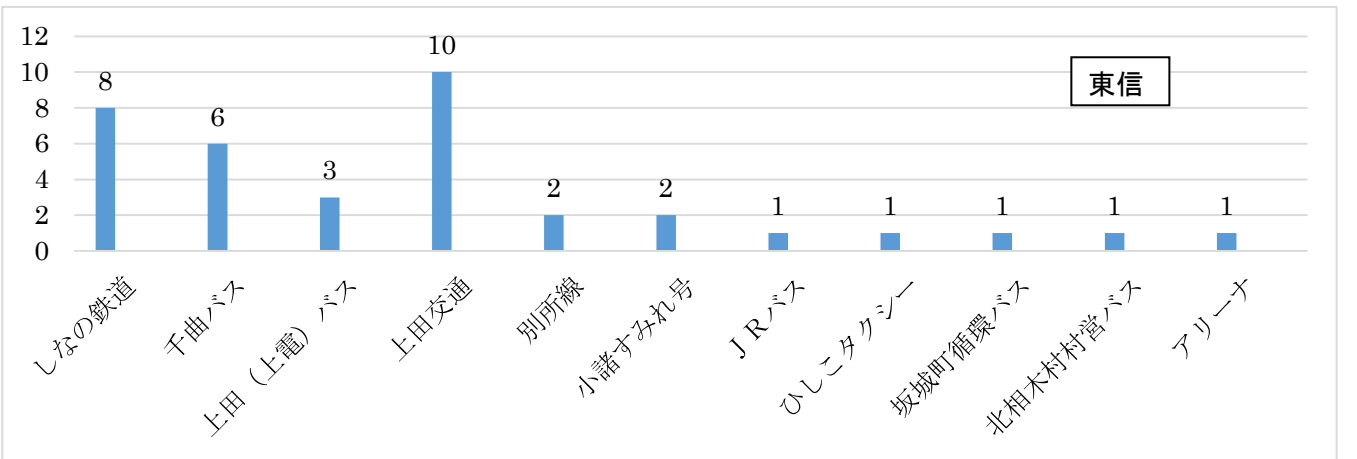
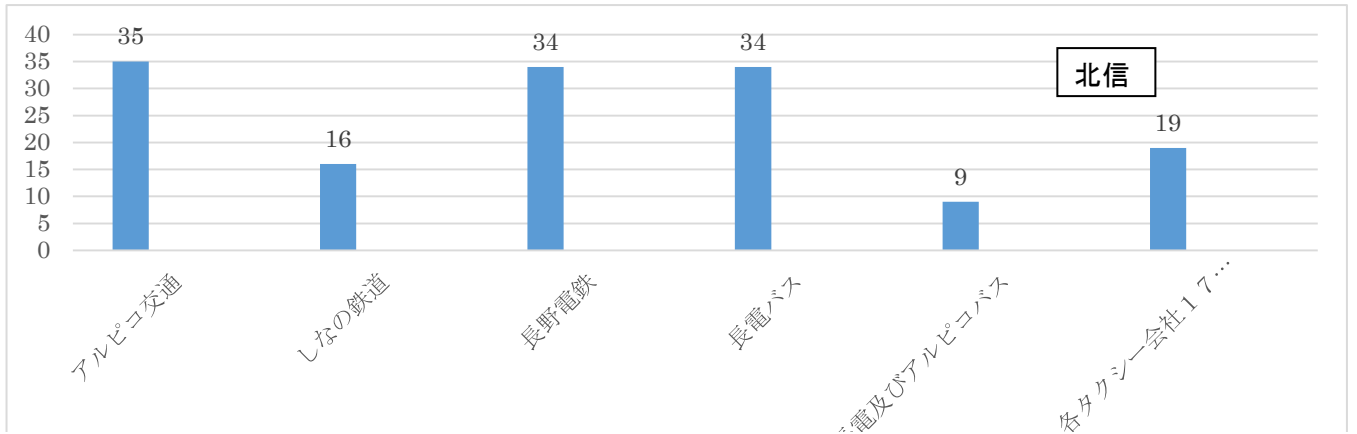




(4. バス、JR、私鉄道、タクシーの会社名 次ページ)

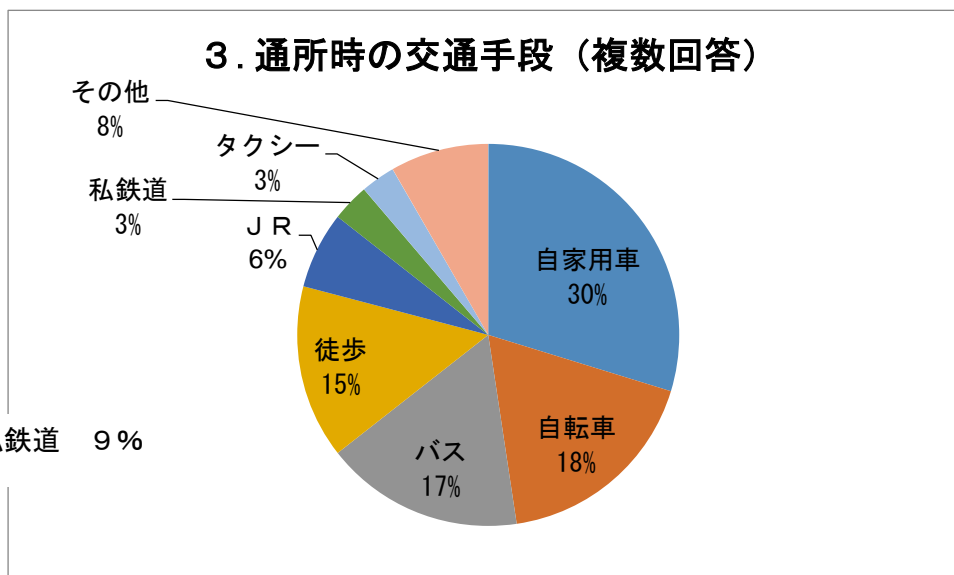
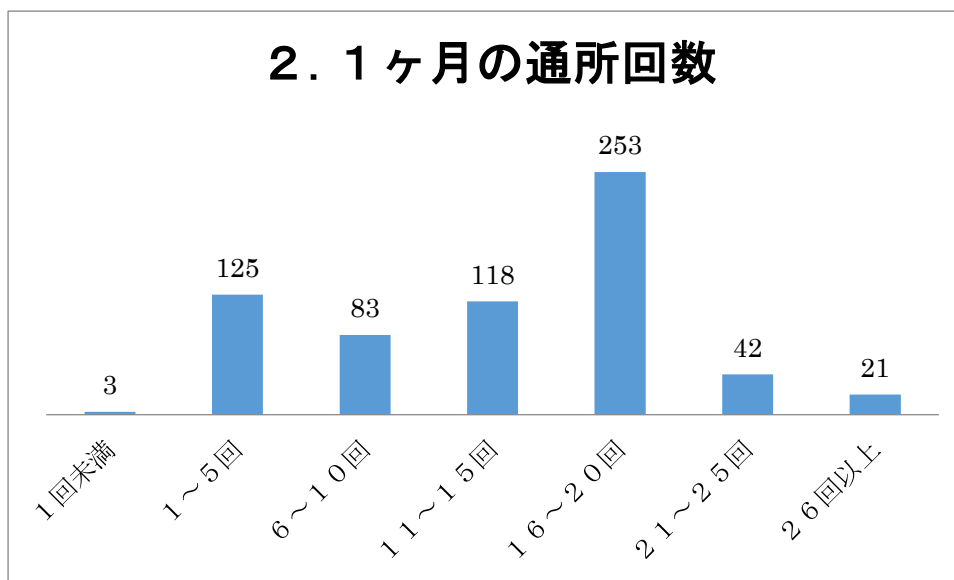


4. バス、JR, 私鉄道、タクシーの会社名

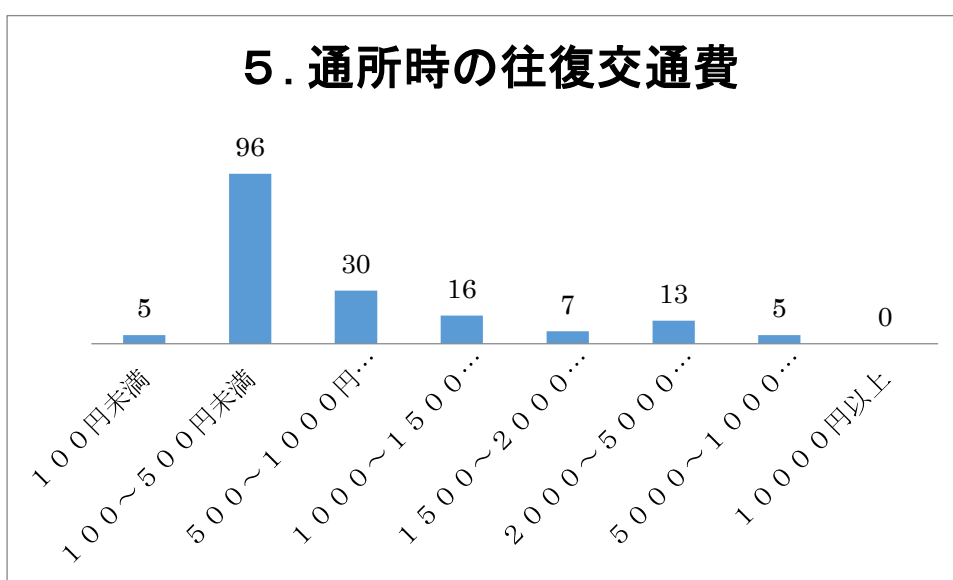


◇通所について

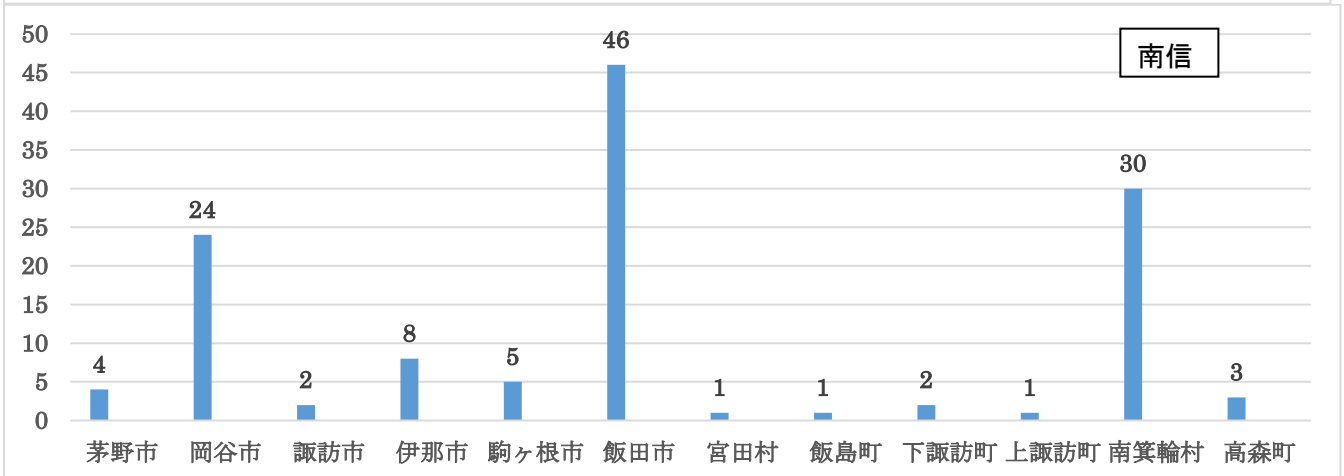
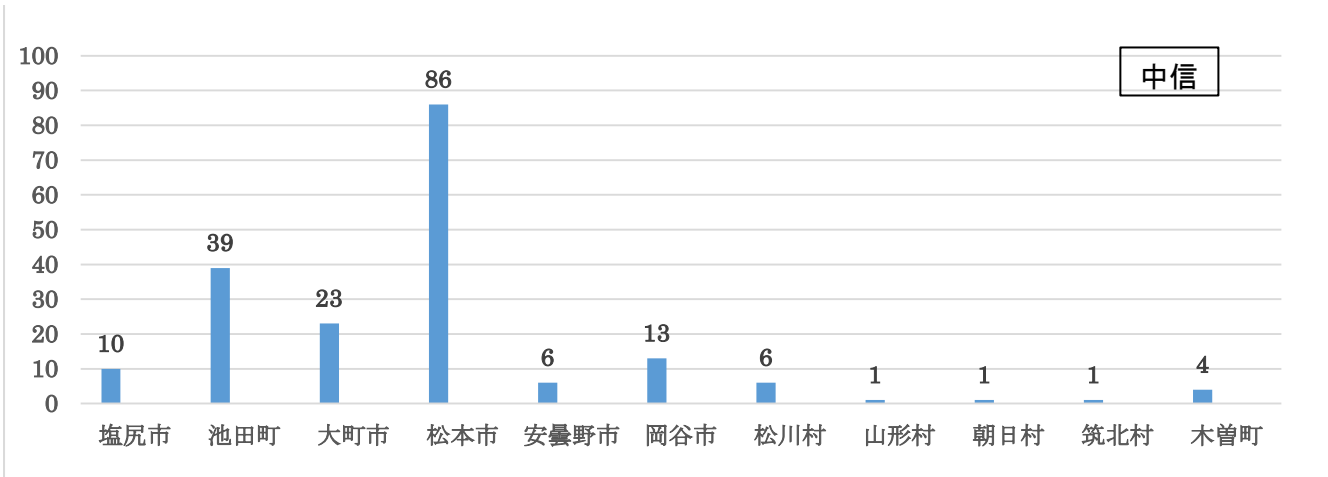
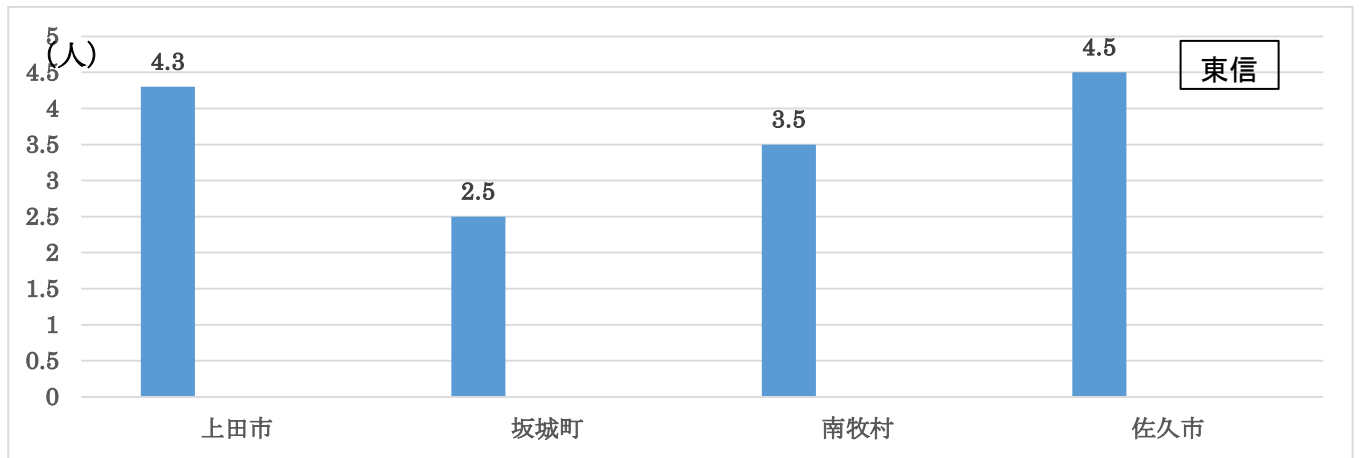
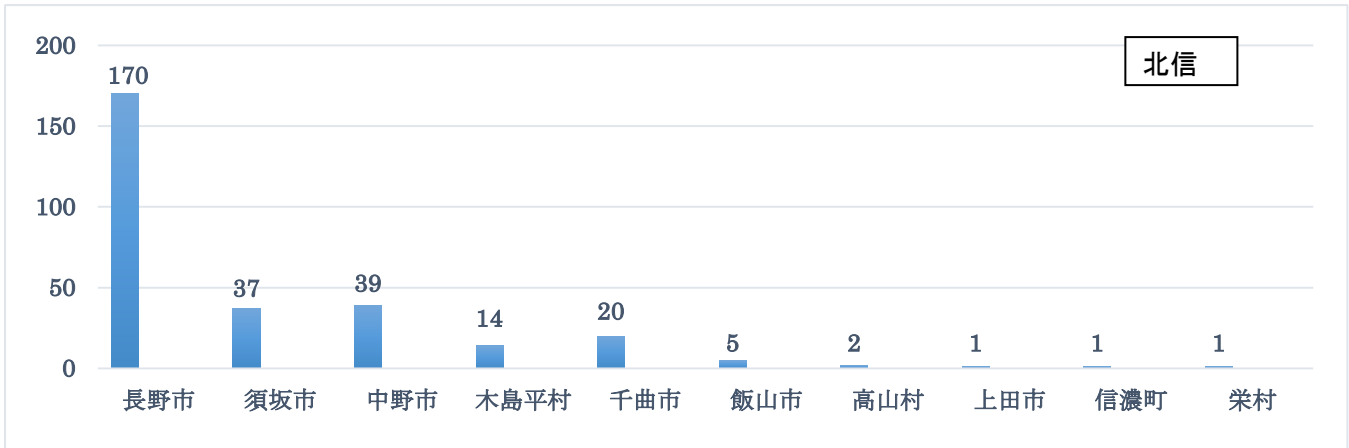
(1. どちらに通所していますか 次ページ)



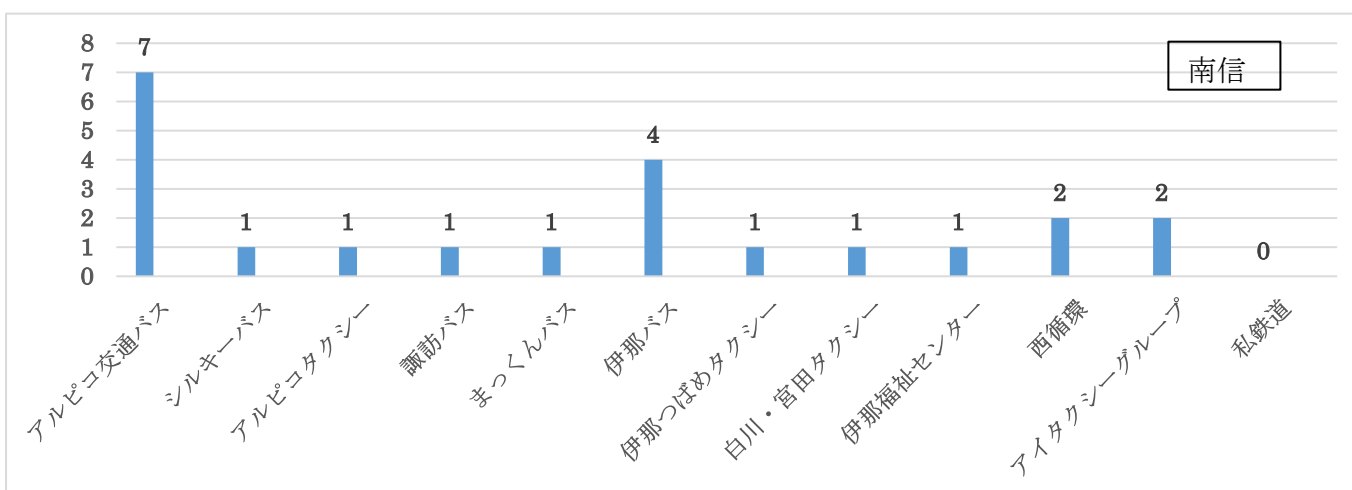
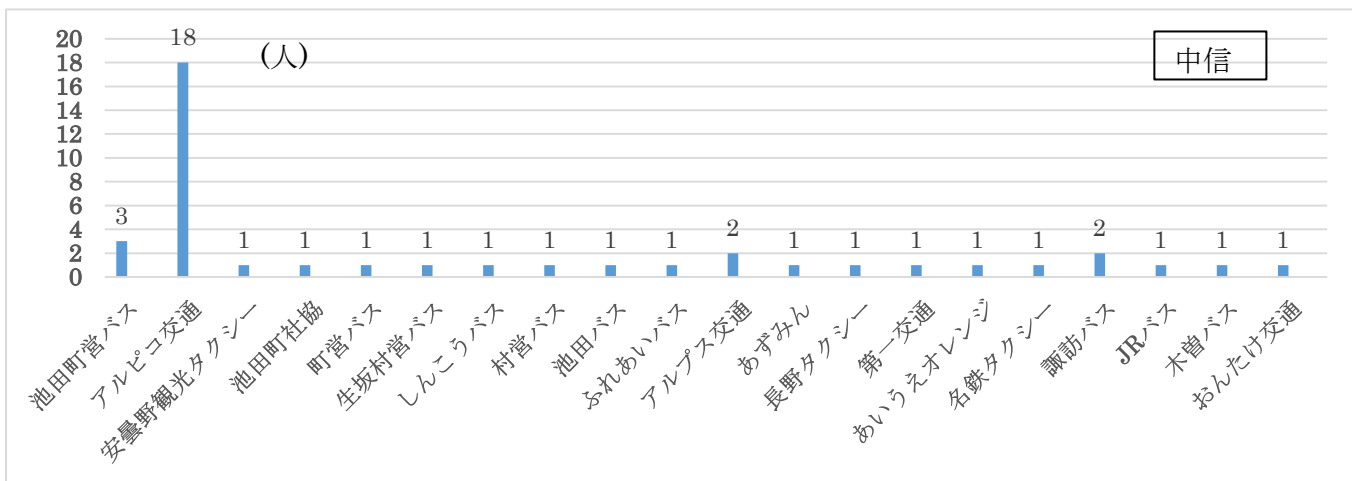
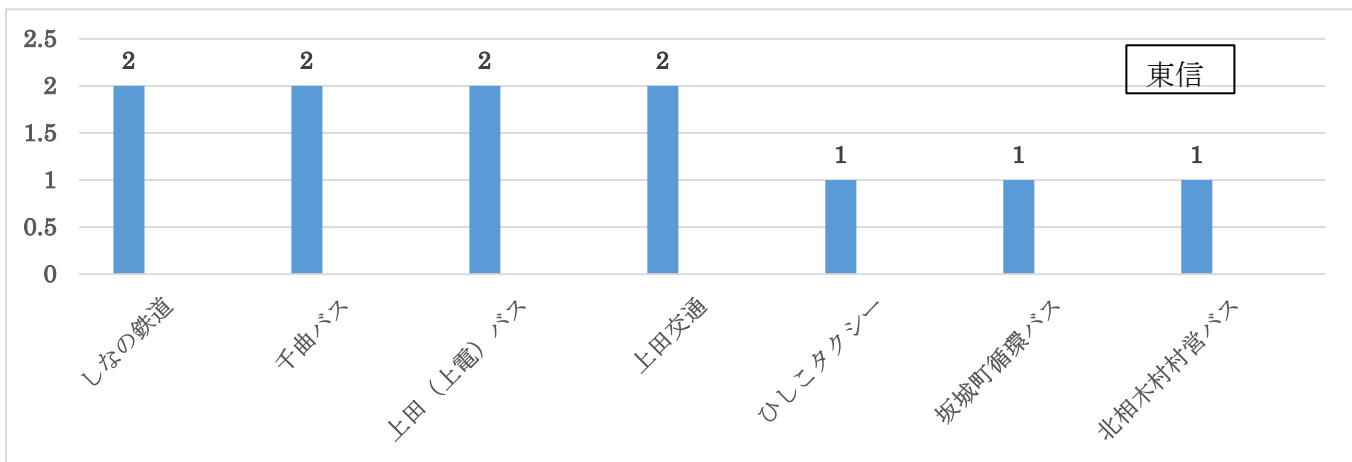
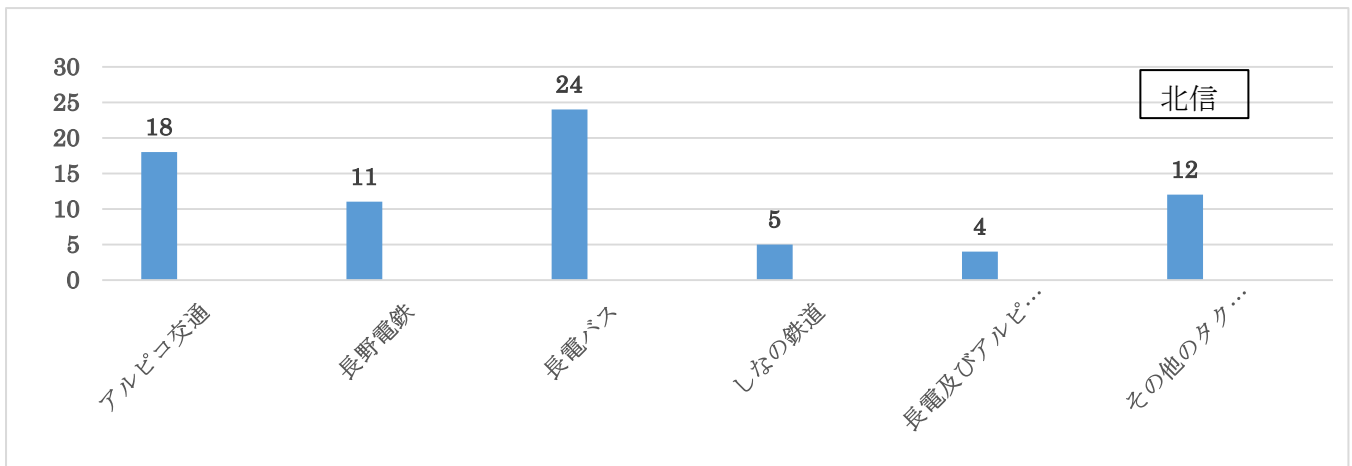
(4. バス、JR、私鉄道、タクシーの会社名 2ページ後)



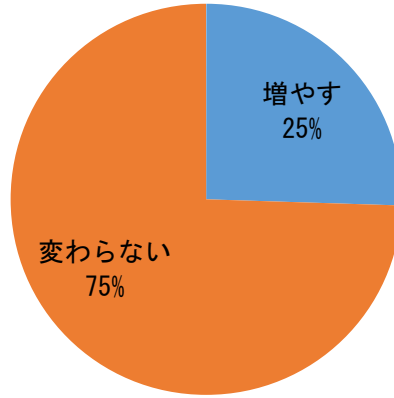
1. どちらに通所していますか



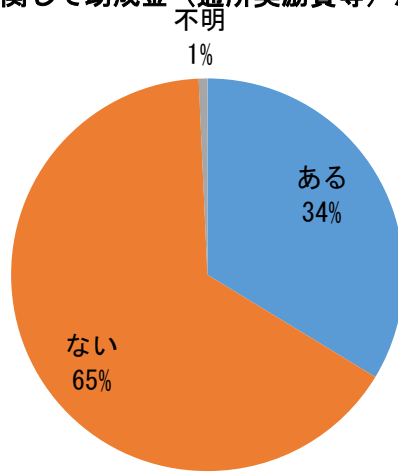
4. バス、JR、私鉄道、タクシーの会社名



6. 運賃割引が実施されたら通所回数を増やしますか

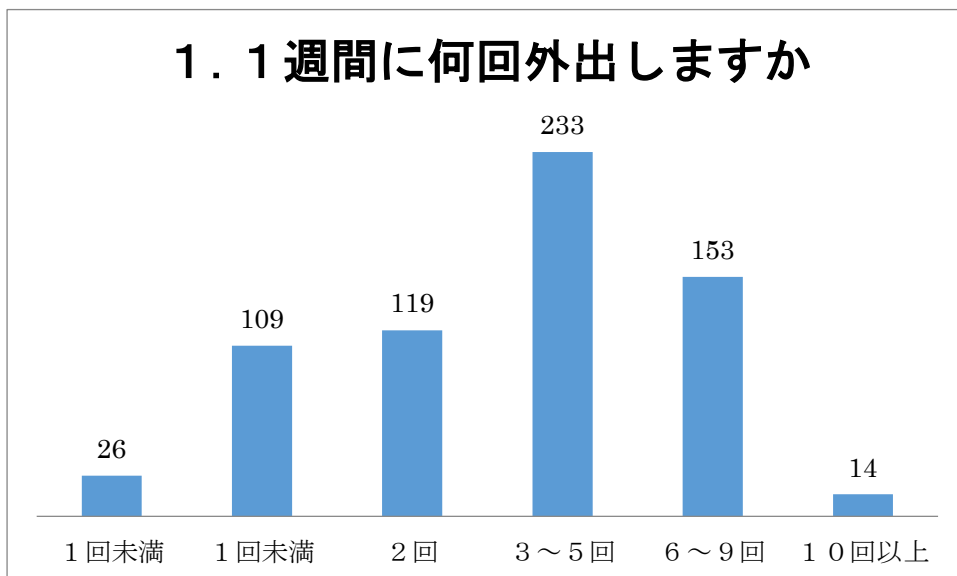


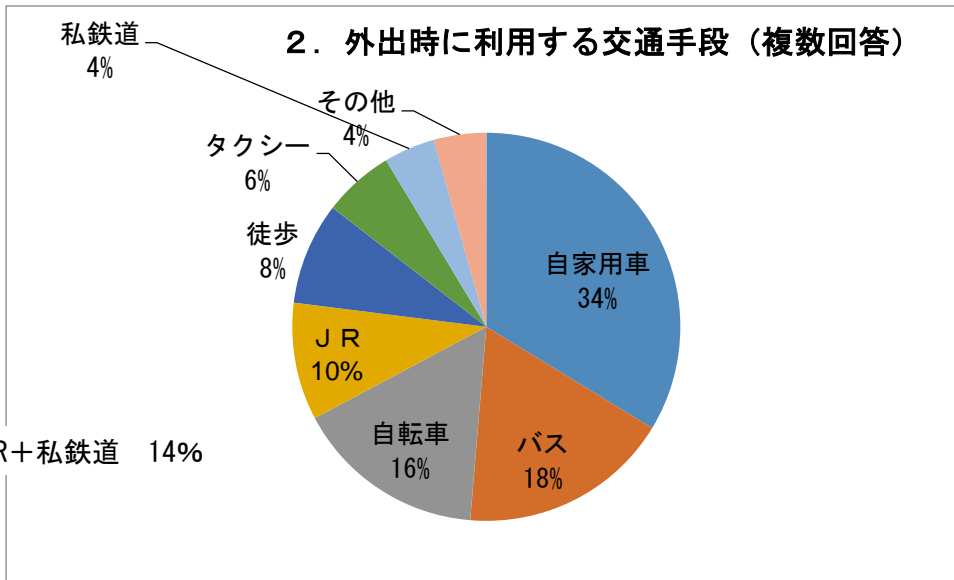
7. 通所に関して助成金（通所奨励費等）がありますか



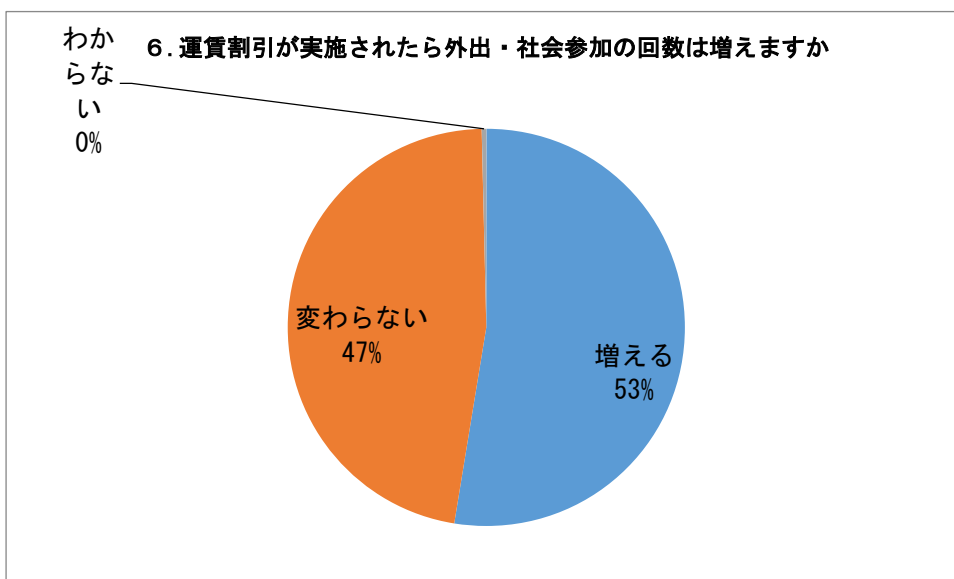
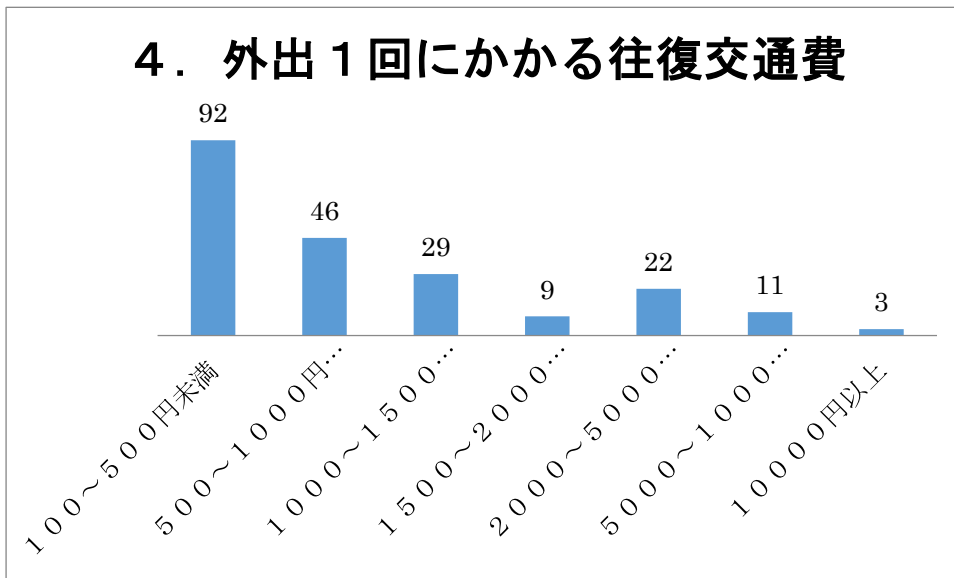
◇社会参加や外出について

1. 1週間に何回外出しますか

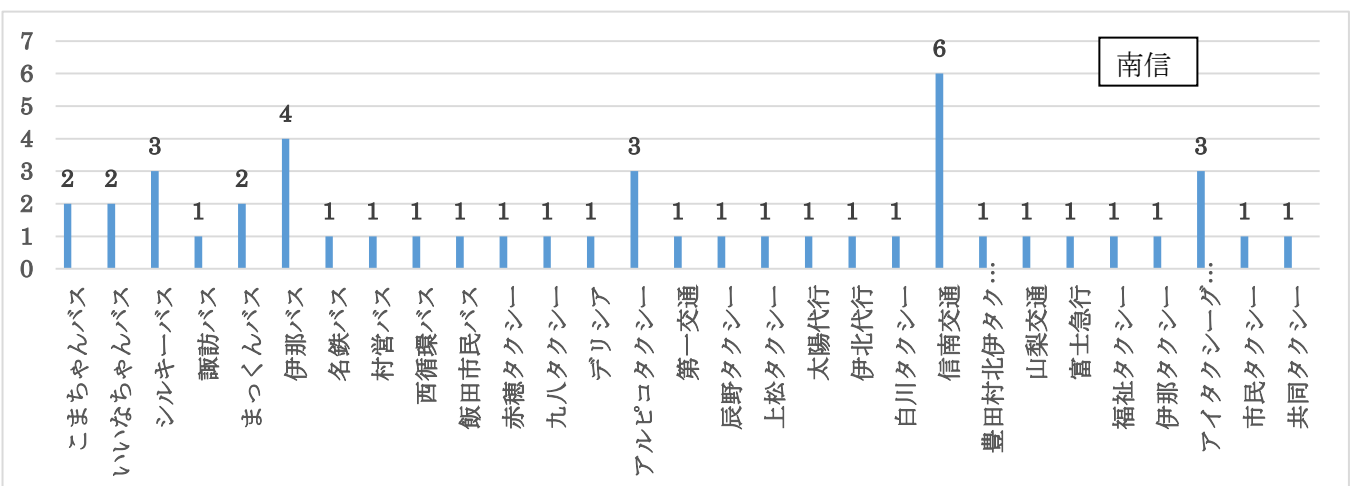
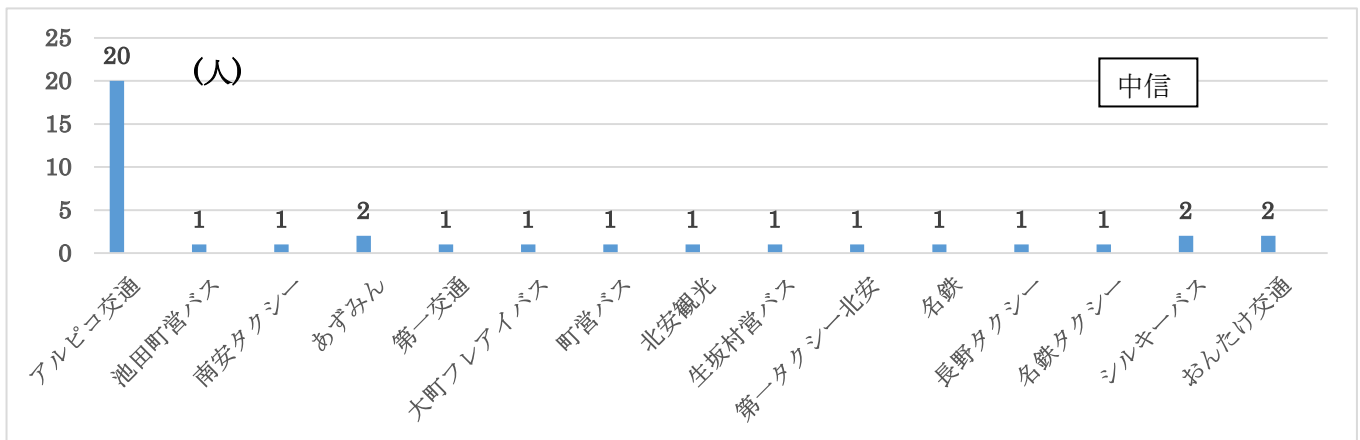
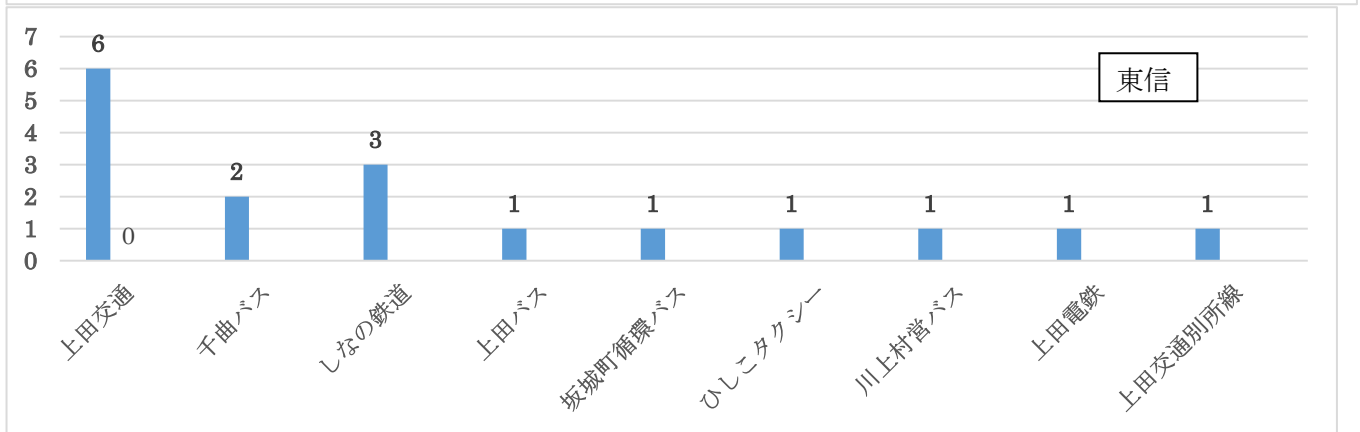
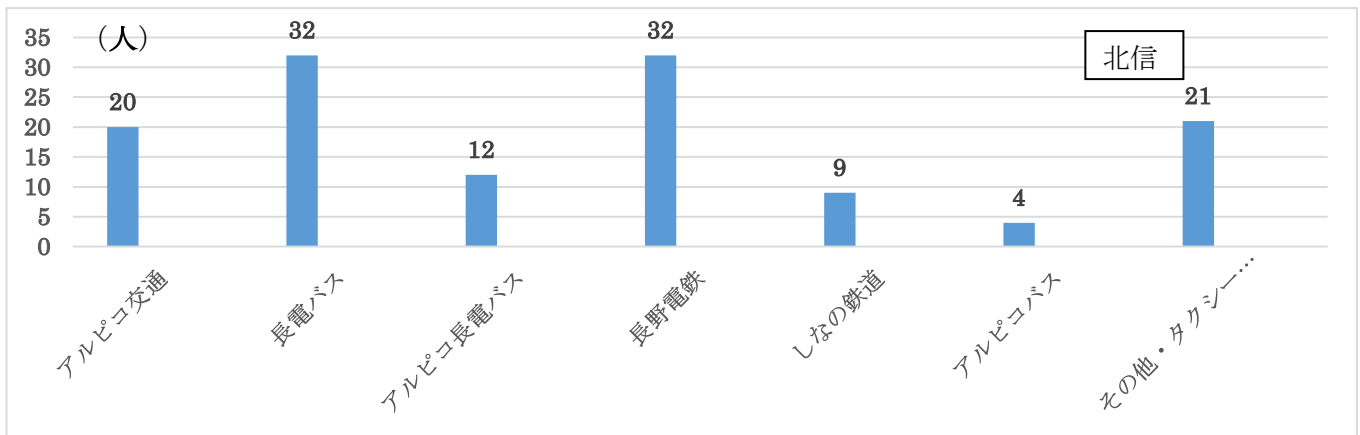




(3. バス、JR、私鉄道、タクシーの会社名 次ページ)



3. バス、JR、私鉄道、タクシーの会社名



「長野県障がい者の地域交通網を考える会」より

皆さまにご協力いただいた『交通機関利用状況アンケート』の集計終了を受けて、去る9月6日、第9回役員会が開催されました。精神障がいを持った個人を含め、精神障がい関連134施設から820通のアンケートをいただきましたこと、誠にありがとうございました。その中から、いくつかの大切な点が浮き彫りとなりました。

《割引実施は社会参加を促す》

「運賃割引が実施されたら外出・社会参加の回数は増えますか？」という質問に、実に過半数の53%の方が「増える」と答えました。「家族への負担を減らせる」「割引制度ができるともっと行動に意欲的になり、外出や遠出もしやすくなる」などの自由記述が見られ、割引がQOL（生活の質：どれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているかを指します）を高めること、裏を返せば割引制度がないために外出・社会参加を控えざるを得ない当事者の姿が見えてきます。

《通院時付き添いを必要とする方が多い》

「通院時付き添いの方が必要」と答えた方が24%いらっしゃいました。精神障害が利用者の方には、電車・バス等の中で、「閉所恐怖」「視線恐怖」などから、閉ざされた車内でパニック発作を起こす方が少なからずいらっしゃることは、皆さまよくご存知のことと思います。それを防ぐには、ご家族などのよく知っている方に付き添っていただくのが一番なのです。しかしこの障がい特性は「見えない」障がいであるために理解されにくいのが現状です。身体障害者手帳の1種の方、療育手帳1種の方は「介助者半額」が認められていますが、精神障害者保健福祉手帳所持者は、すべての級において、介助者の分まで含めて、つまり二人分を負担せざるを得ない状況です。（しなの鉄道様には、1級について介助者半額としていただきました。）「見えない障がい」について、公共交通機関のみならず社会に幅広く理解を深めていただく活動を、運賃割引の運動と共に行っていくことの重要性を確認しました。

《通所に関する助成金に地域間格差》

市町村によって、施設への通所に助成金（通所奨励費等）が出るところと出ないところがあります。地域間格差が大きく、北信の施設では51%があると答えているのに対して、南信では14%しかありません。

《せつかく割引が実現したしなの鉄道も、割引を受けるのに手続きの不便さがある》 しなの鉄道では、昨年3月より精神障がい者に対しても半額割引が実現しましたが、長野～篠ノ井のJR区間の運賃はいまだに割引対象外となっているために、乗車するたびしなの鉄道分の切符だけを買って、下車駅で精算をしなければならず、しなの鉄道運賃として一括購入のできる身体・療育手帳所持者に比べて不便だとの指摘がありました。手続きの不便さ、JR区間の割引除外は、精神障がい者に対する配慮の不足と言えるでしょう。◎地域の足である各私鉄、そして運賃制度の根幹となっているJRに対して、なんとしても身体・知的障がい者と同等の運賃割引を実現してほしいという強い要望が数多く寄せられました。当会として、計画的・効果的に、陳情活動を行っていきたいと思います。ご支援・ご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。◎交通運賃割引に関する記述のみでなく、就労・医療・福祉・生活など、さまざまな事柄に関する切実な声が寄せられました。ひとつひとつの問題について、しかるべき団体等と連携をとりながら、当事者の「生きづらさ」の改善に取り組みたいと思います。